

A stylized sun graphic on the left side of the slide, consisting of a large yellow circle with several shorter yellow dashes radiating from its top-left edge. The background is a gradient from orange at the top to white at the bottom, with a large white semi-circle on the right side.

新型コロナウイルス ワクチンについて

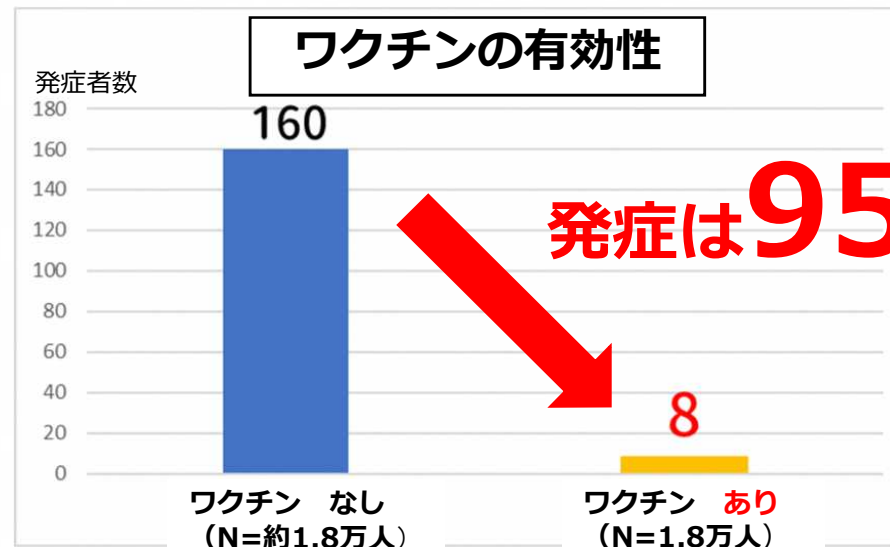
2020/01/18現在
新潟大学大学院医歯学総合研究科
国際保健学分野 教授
齋藤玲子

※現時点の公開情報に基づいており、今後、変更・更新されることがありえる

ワクチンで
多くの命
が救えます。



- 新型コロナワクチンは非常に高い効果でこの感染症の発症と重症化※1を防ぎます。
<有効性95%※2>
- この感染症により、日本だけで累計4000名以上の方が亡くなっています※3が、今後はこのワクチンで発症や死亡を防ぐことが期待できます。



ファイザー製のワクチンの臨床試験（約3万6千人）結果※4
（モデルナ製も有効率は94.5%）※4

※1 ファイザーワクチン治験参加者3.6万人中、重症は10人発生。うち、9人がワクチンなしグループ（N Engl J Med 2020; 383:2603-2615）
※2 ファイザー製のワクチンの臨床試験結果。ワクチンありとなし、それぞれ1.8万人ずつランダムに振り分けて結果を約1ヶ月追跡。
※3 1月15日現在
※4 日本感染症学会ワクチンに関する提言(第1版)より

ワクチンは
極めて安全
です。

安心
安全

○ 米国において嚴重な治験・審査

- ・他のワクチンや薬剤と同様に、必要な3段階の臨床試験を全て実施。
- ・米国の審査機関でも嚴重に有効性や安全性を評価。
(スピード重視のために飛ばしたステップはない)

○ 日本でも嚴重に治験・審査

- ・日本人を対象にした治験も実施中。
- ・日本の審査機関でも、定められたステップを着実に実施。

○ 重い副反応はほとんどない

- ・ほとんどの副反応は、接種部位の痛み、発熱、疲労感など**軽いもの**。**1-2日**で消えることがほとんど。(免疫が反応して、ウイルスへの抵抗力を付ける過程で起きる)
- ・じんましんに伴う息苦しさなど、強い反応(アナフィラキシー)が起きることがあるが、非常にまれ。(100万人に投与すると**約1-10人程度**)

○ アナフィラキシーについては、治療薬もあり、会場でもすぐに対処できるよう体制を整備中

- ・じんましんに伴う息苦しさなど、強い反応: アナフィラキシーはどんなワクチンや薬剤でも起こりうるため、対処方法が確立している。
- ・米国でも、接種会場で適切に経過をみて、反応が起きれば対処され、アナフィラキシー後、**全員が回復**している。(12/23現在 20人中20人)
- ・治療薬が存在しているため、**接種会場に配備しすぐに対処できるように体制を整え**るとされている。